

阿波おどり開催に向けての組織体制

阿波おどり事業検討 プロジェクトチーム

13人（庁内関係部局）

運営体制の検討、情報共有・連絡調整

【検討の視点】

- ・ 公平性・透明性の向上
- ・ 観光資源としてのさらなる活用
- ・ これまで以上に幅広い意見の吸い上げ

【新たな組織体制】

- ・ 新たな組織体制は、決定機関である実行委員会と、幅広い意見を伺う運営協議会の2層構造とする。
- ・ 運営協議会は、より広い意見を吸い上げるため、これまでの実行委員会メンバーに、大学や交通機関を加える。
- ・ 実行委員会は、新たな決定機関として、阿波おどりによる経済波及効果や観光資源としてのさらなる活用のほか、若い行動力・アイデア力、インバウンドや情報発信力の効果を考え、経済団体のほか青年会議所、国際交流協会、旅行業協会を構成員とする。
- ・ さらに、徳島市が実行委員会に加わることで、公平性を確保するとともに、徳島市が責任を持って運営を行うこととする。

新たな組織体制

実行委員会

8団体

徳島県商工会議所連合会、徳島県商工会連合会、徳島県中小企業団体中央会、徳島青年会議所、徳島市国際交流協会、日本旅行業協会中四国支部徳島地区委員会、徳島新聞社、徳島市

〔主な役割〕

阿波おどりを主催し、開催について審議・決定および事業実施機関準備、運営、事業計画、予算、決算

幅広い意見の
吸い上げ

阿波おどりへの
支援・協力

運営協議会

24団体

徳島県阿波踊り協会、徳島県阿波おどり保存協会、NHK、四国放送、日本航空、全日本空輸、県バス協会、徳島河川国道事務所、JR四国、警察、徳島県観光政策課、徳島県都市計画課、徳島市土木部、徳島市消防局、徳島市経済部、徳島県旅館ホテル同業組合、旅館組合、東新町1丁目商店街振興組合、紺屋町共栄会、両国本町商店街振興組合、両国橋南商店街振興組合、徳島大学、四国大学、徳島文理大学

注) 下線は、これまでの実行委員会に入っていない団体

〔主な役割〕 実行委員会の諮問機関として、より良い阿波おどり開催のため、幅広い意見を伺うとともに、支援・協力をいただく